

12日夜～13日明け方は三大流星群が見頃、好条件で1時間に最大50個の流星も  
月明かりなく好条件！“ペルセウス座流星群”太平洋側で観測チャンス  
～12日（木）21時放送、「ウェザーニュースLiVE」で全国4か所から星空を生中継～

株式会社ウェザーニュース（本社：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開千仁）は、8月13日4時頃に極大となる三大流星群（※）のひとつ“ペルセウス座流星群”の観測を楽しんでいただくため、12日夜～13日明け方の全国の天気傾向を発表しました。当日は、湿った空気の影響で天気が崩れる地域もありますが、広い範囲で雲の間から流星を観測できる可能性があります。また、日本海側に比べて太平洋側で観測できる可能性が高いと言えそうです。

24時間生放送の気象情報専門チャンネル「ウェザーニュースLiVE」では、12日夜にペルセウス座流星群に関する特別番組を配信予定です。国内4か所から星空の生中継を行い、ペルセウス座流星群の様子を視聴者の皆さまにお届けします。流星観測が難しいエリアの方や外での観測が難しい方は、ぜひ「ウェザーニュースLiVE」の流星中継をお楽しみください。

※三大流星群：1月の“しぶんぎ座流星群”、8月の“ペルセウス座流星群”、12月の“ふたご座流星群”があげられます。

「ペルセウス座流星群 特設サイト」	「ウェザーニュースLiVE」特別番組はこちら
ウェザーニュースウェブサイト 「ペルセウス座流星群」 <a href="https://weathernews.jp/s/star/perseus/">https://weathernews.jp/s/star/perseus/</a>	「ウェザーニュースLiVE」 【生中継】ペルセウス座流星群 <a href="https://youtu.be/nM2SNb7LJws">https://youtu.be/nM2SNb7LJws</a>

◆ 気になる天気は？太平洋側を中心に雲の間から観測のチャンス！



当日は、湿った空気が流れ込む影響で雲の多い空模様となる見込みですが、太平洋側を中心に雲の間から流星が観測できる可能性がありそうです。一方で、西日本と北海道の日本海側では低気圧や前線が接近する影響で、雨雲が広がり流星観測は難しい予想です。

※本予報は5日時点のものです。最新のマップは「ウェザーニュース」アプリの『星空 Ch.』、またはウェザーニュースのウェブサイト「ペルセウス座流星群 特設サイト」(<https://weathernews.jp/s/star/perseus/>)にて更新していきますので、随時ご確認ください。

◆ 「ウェザーニュース LiVE」で星空を生中継、全国4か所から配信します！

24時間生放送の気象情報専門チャンネル「ウェザーニュース LiVE」では、12日夜にペルセウス座流星群に関する特別番組を配信予定です。国内4か所から星空の生中継を行い、流星群の様子を視聴者の皆さまにお届けします。番組はウェザーニュースのウェブサイトの他、YouTube、ニコニコ生放送、TikTok LIVE、LINE LIVE、Facebook ライブ動画、Twitter など各種動画サイトでご覧いただけます。

流星観測が難しいエリアの方や外での観測が難しい方は、ぜひ「ウェザーニュース LiVE」の流星中継をお楽しみください。



◆ 活動のピークは13日4時頃、12日は遅い時間ほど観測のチャンス高まる

2021年のペルセウス座流星群の活動のピークは13日の4時頃と予想され、8月12日(木)夜~13日(金)明け方の観測がおすすめです。ペルセウス座流星群の放射点は、時間の経過と共に高く昇るため、少しでも多く流れ星を見たい方は、13日未明に観測するのが良さそうです。

今年は、関東では21時頃に月が沈むため、夜から明け方にかけて月明かりの影響がほとんどなく、とても良い条件で流星観測を楽しむことができます。空の暗いところで観測できる流星数は、最大で1時間に50個程度となりそうです。

流星群はペルセウス座の周辺のみには出現するわけではなく、放射点を中心に四方八方に流れるため、夜空のどこにも現れます。周囲が開け、街灯が少ない場所での観測がおすすめです。



12日(木)22時頃 北東の空(東京)